

UIFA ニュース

第 16 号

平成 9 年 6 月

✕ 発行 宇治市国際親善協会

事務局：宇治市宇治琵琶33 宇治市役所秘書課内

TEL 0774-22-3141 内線 2059



▲総会であいさつをする谷岡会長（5月10日、生涯学習センター）

会長に谷岡氏、副会長に中川、上林、城島氏を選出

親善協会

平成9年度総会 事業・予算等を可決

宇治市国際親善協会の平成9年度総会が、5月10日宇治市生涯学習センターで開会され、平成9年度事業案ならびに予算案、そして平成9・10年度の役員改選など5議案について審議されました。

総会は、午後1時から会員一六三名（委任状出席含む）の出席を得て開催され、議長に谷岡会長を選出し平成8年度事業報告案、決算案が審議され、可決されました。次に、平成9・10年度の役員改選が行われ25名の理事と2名の監事を選出、その後の理事会において会長に谷岡武雄氏、副会長に中川恵次、上林春松、城島健治氏の三氏が選出されました。

この後、平成9年度事業案、予算案が審議され、親善協会設立10周年記念事業や語学講座の開催などを盛り込んだ七、一三五千円の予算案が可決されました。

総会に引き続いて記念講演会が行われ、青年海外協力協会近畿支部長の香月龍太郎氏が「地球市民への誘い」をテーマに、氏の海外での体験を通じた国際交流、国際協力について講演をしていただきました。

国際親善協会設立10周年

記念事業や新規事業を推進

総会ならびに理事会で選出・承認された平成9・10年度の役員の皆様は次の方々です。お世話になります。よろしくお願いします。(敬称略 順不同)

役員名

名誉会長 久保田 勇
顧問 菅野 多美子 佐藤 京子
会長 谷岡 武雄
副会長 中川 恵次 上林 春松 城島 健治
理事 和田 安治、渡辺 孝 森 敬夫

平井 晶子 小西 敏博 中村 英一
吉田 利一 笠島 教瑞 前川 桂子
古川 宏司 伊藤 宗恂 菅原 正彦
塚本 樹 池本 植秀 小沢 恵
森下 博三 今川 博 辻 四郎
玉井 政夫 八島 正三 長束 元和
監事 平田 泰彦 阿野 達夫
事務局長 小沢 章広

さらなる充実をめざして



▲熱心に討議が行われた総会 (5月10日)

語学講座の開催や 訪問団の派遣、 受け入れに協力

宇治市国際親善協会は、昭和62年3月28日に設立され、今年で10周年を迎えました。これを記念して、今年度に記念事業に取り組み、会員や市民の国際理解を推進するため、語学講座、ボランティア養成講座、協会加盟団体との提携事業の推進など次の事業に取り組むことが決まりました。「(一)内は予算額 千円」

一六二〇人、一三〇万円。

昨年、宇治市と咸陽市が友好都市

になって10周年を期に「咸陽市の子供たち

に本を贈る運動」に賛同

していただいた市民と寄せられた浄財で

ある。

この10年間の両市の様々な友好交流を振り返ると、

スポーツを通しての子どもたちの交流は、

21世紀に向けた市民交流の基礎を築くという意味

からもその成果は期待される。

こうした中で、われわれ宇治市民として咸陽市の子どもたちのために何か手を差し延べることは

ないか、沢山の人が気軽に参加でき、永年にわたって続けられる運動をと

いうことで発足したのが、五〇〇円の募金で「咸陽市の子どもたち」に本を贈ろうである。

「草の根交流」序幕

宇治市日中友好協会 会長 上林 春松

幸い、初年度は2中学校、3小学校に二五〇〇冊の図書を贈ることができた。息の永い「草の根交流」の始まりであればと願っている。

Ⅱ 啓発・研修事業 Ⅱ

- ・ 親善協会ニュースの発行
(3回、500)
- ・ 語学講座の開催(中国語、英語)
(10月、3月、16回、500)
- ・ 国際交流ボランティア養成講座
(6月、3回、100)
- ・ 先進地の視察
(11月、100)
- ・ 国際交流推進事業の支援
(300)



日本の近代史を国際交流の観点から見直すと、明治前期の先覚者による交流、その後第二次世界大戦に至るまでの外交官・学者等の交流、戦後のほぼ一九八五年ごろまでの経済を中心とする交流というように、大きくまとめることができます。そうすると、現在は市民を主とする国際交流の段階に入っていることがわかります。

21世紀の転換点を挟む

次の10年のために

宇治市国際親善協会 会長 谷岡 武雄

私たちの国際親善協会は、市民による国際交流の高揚期に結成され、三つの姉妹・友好都市との交流に多くの成果を挙げて、早くも10年が経過いたしました。次の10年には、21世紀のまさに転換点を越えることとなります。幅広い市民の交流ということでは変わりがないでしょう。

しかし、従来の三都市に限ることなく、市民が自主的に外国諸都市の市民との交流を進め、世界平和の維持と発展に寄与することが、協会の大きな課題となるはずです。

Ⅱ 交流推進事業 Ⅱ

- ・ 咸陽市訪問団の派遣協力
(10月、1000)
- ・ 咸陽市代表団の受け入れ協力
(11月)
- ・ カムループス市訪問団の受け入れ協力
(8月)
- ・ 中国帰国者日本語講座の開催
(40回、640)
- ・ 10周年記念事業 Ⅱ
記念式典ほか
(10月、1500)

国際交流講演会に約50名が参加

青年海外協力隊の活動を通して国際交流
香月龍太郎氏が講演



氏は講演の中で、「世界の人々と私たちとの融合を図り、共生する社会を作ることが大切。人、自然を含めた付き合いを進めることが、地球市民への道である。また、知識も大切であるが、感性を磨くことが必要であり、体験を通じた感性づくりが大切である」と講演し、参加者にこれからの国際交流・国際協力の方向を示されていました。

氏は講演の中で、「世界の人々と私たちとの融合を図り、共生する社会を作ることが大切。人、自然を含めた付き合いを進めることが、地球市民への道である。また、知識も大切であるが、感性を磨くことが必要であり、体験を通じた感性づくりが大切である」と講演し、参加者にこれからの国際交流・国際協力の方向を示されていました。

宇治市国際親善協会は、会員や市民の皆さんに国際理解を深めてもらうと、5月10日の総会の後、国際交流講演会を開催。約50名の市民が参加しました。

今回は、「地球市民への誘い」をテーマに青年海外

カリブ大学 市民留学生 オーストラリア ロータリークラブ

市役所を 表敬訪問

4月16日、本市の友好都市カムループス市にあるカリブ大学への市民留学生、小山智子さんと大塚祐子さんが市役所を訪問して、久保田市長と佐藤副議長から激励を受けました。この留学生派遣制度は、友好都市5周年を記念してカリブ大学が制定したもので、昨年の8名に続いての留学になります。



▲久保田市長から激励を受ける小山さん(左)と大塚さん(中) 4月16日



▲オーストラリア キャンベラから来日した研究グループの皆さん (4月17日)

二人は、22日にカナダに向けて出発し、四か月から八か月間大学の教育や異文化などを学ぶことになっています。

また、4月17日、宇治鳳凰ロータリークラブ(樋口善康会長)が招待したオーストラリア国キャンベラからの研究グループ5名(デビット・グラハム団長)が来宇、久保田市長を表敬訪問しました。

表敬訪問の後、一行は白川に建設された宇治明星園白川特別養護老人ホームやケアハウスなど、日本の福祉施設を視察されました。

会費納入のお願い

先に平成九年度の会費の納付書をおくりしましたが、まだ納入いただいていない方は納入していただきますようお願いいたします。

また、住所の変更などがありましたら事務局までご連絡ください。会費は次のとおりです。

- ▼個人会員 二千元
- ▼団体会員 五千元
- ▼法人会員 一万円

宇治市国際交流基金に

ご協力ください

宇治市では、昭和六十二年三月、国際交流の推進と、青少年の海外研修派遣、外国人留学生への生活援助その他の国際交流事業に寄与することを目的に「宇治市国際交流基金」を設置。基金の目標額を一億円とし、その運用益で事業を展開することになっています。

これまで多くの団体、市民の皆さんからご協力をいただき、その総額が約三千六百万円となっていますが、目標額にはまだまだ遠い額です。

宇治市の国際交流の推進と、本協会の活動を一層高めるため、本基金へのご協力をお願いします。